

# 琵琶湖・淀川流域ネットワーク推進会議

## かわら版

— 第 1 4 号 —

事務局：京都府府民環境部公営企画課

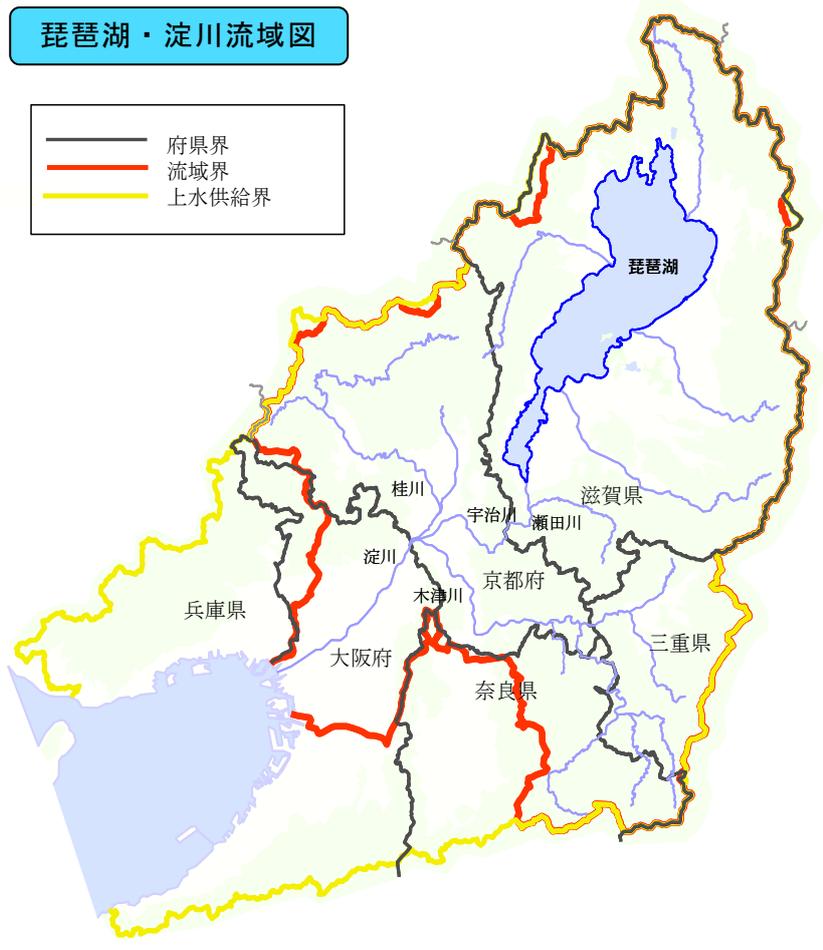
TEL：075-414-4772 FAX：075-414-5470

e-mail：koei@pref.kyoto.lg.jp

～★ 令和 2 年 3 月発行 ★～

### 琵琶湖・淀川流域図

— 府県界  
— 流域界  
— 上水供給界



### 構成団体

- ・三重県地域連携部  
水資源・地域プロジェクト課  
TEL:059-224-2010
  - ・滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖保全再生課  
TEL:077-528-3461
  - ・京都府府民環境部公営企画課  
TEL:075-414-4772
  - ・大阪府政策企画部  
戦略事業室空港・広域インフラ課  
TEL:06-6943-8054
  - ・兵庫県企画県民部  
ビジョン局ビジョン課  
TEL:078-362-3294
  - ・奈良県地域振興部  
エネルギー・土地水資源調整課  
TEL:0742-27-8489
- [オブザーバー]
- ・(公財)琵琶湖・淀川水質保全機構  
TEL:06-6920-3035

### ■「琵琶湖・淀川流域ネットワーク推進会議」とは

平成15年3月に京都市等で開催された『第3回世界水フォーラム』を契機に、流域6府県（三重県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県）が、水環境保全のネットワークを構築するため「琵琶湖・淀川流域ネットワーク推進会議」を設立しました。

### ■「琵琶湖・淀川流域ネットワーク推進会議」の活動

「琵琶湖・淀川流域ネットワーク推進会議」では、琵琶湖・淀川流域の自治体間の情報共有及び連携を推進し、琵琶湖・淀川流域における水環境保全の取組等に関する啓発事業及び情報の発信を行うこととしております。

※かわら版では、構成団体における水環境保全に関する取り組みを紹介します。

— URL： <http://www.pref.kyoto.jp/kyonomizu/10400031.html> —

# ■三重県■ 川上ダム建設事業について

## 1 概要

川上ダムは、水資源機構が平成4年建設大臣から事業実施の指示を受け、伊賀市（旧名賀郡青山町）地内の淀川水系前深瀬川に建設中の多目的ダムです。

事業は、淀川流域の洪水被害の軽減および水道用水の確保、発電事業、流水の正常な機能の維持を目的に進められてきましたが、近年の社会情勢の変化から、水道用水の一部縮小・撤退、発電事業の撤退があり、また維持管理（ライフサイクルコスト低減）の観点から既設ダムの堆砂除去のための代替補給が追加されました。

川上ダムの目的は、以下の通りとなっています。

- ① 洪水調節
- ② 流水の正常な機能の維持（既設ダムの堆砂除去のための代替補給を含む）
- ③ 水道用水の確保（三重県伊賀市）

川上ダムの総事業費は平成26年度価格で1,180億円、予定工期は令和4年度となっています。また、堤体諸元等は、重力コンクリートダム、堤高84m、総貯水量3,100万 $m^3$ 、湛水面積1.04 $km^2$ となっています。

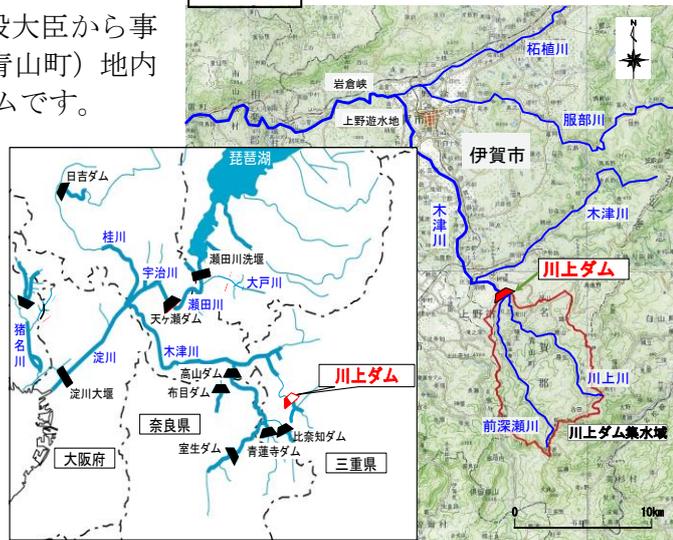
## 2 事業進捗状況

現在、令和4年度の完成を目指し、ダム本体工事が着々と進められています。

ダム本体工事について、ダム堤体のダム高は7.5m/84m（令和元年11月末現在）となっており、令和元年12月15日には関係者等により「川上ダム定礎式」が開催されました。

また、独立行政法人水資源機構川上ダム建設所ダムにより、川上ダムの目的や貯水容量などの情報を記載した建設中のダムカードの配布や近鉄伊賀神戸駅での川上ダム看板の設置、小中学生など若い世代を含む地域住民に対する川上ダム工事現場見学会などを通じた、川上ダムの事業に関する理解や興味を深めていただく機会の提供を積極的に行っていただいております。地域住民の川上ダムへの関心が日々高まってきています。

位置図



定礎式



現況



ダム見学会



※独立行政法人水資源機構川上ダム建設所より画像提供

## ■滋賀県■ ～ごみを減らして琵琶湖を守る～ 琵琶湖の保全再生と地域の活性化に向けた取組

### ○琵琶湖におけるプラスチックごみ実態把握調査

近年、プラスチックごみが国際的な問題となり、その削減が課題となっています。琵琶湖におけるプラスチックごみの現状を把握するため、守山市の赤野井湾再生プロジェクト主催の「びわこ湖底ごみ回収大作戦」で回収された湖底ごみについて、滋賀県が実態把握調査を行いました。186人が参加したこのイベントで回収された湖底ごみのうち、プラスチックごみの割合は体積比で74.5%となっており、特に「袋類」と「農業系プラスチックごみ」が多いことが分かりました。また、使用年代が10年以上前と推定されるごみもあり、湖底のプラスチックごみは比較的長期間、分解されずに堆積している可能性があるということも分かりました。このため、新たなプラスチックごみの流出を防止するための総合的な対策を講じて、琵琶湖におけるプラスチックごみの蓄積を防止することがより一層重要であるということ分かりました。



### ○「滋賀セブンの森」事業に係る連携協定の締結

滋賀県、守山市、セブン-イレブン記念財団、淡海を守る釣り人の会は、令和元年8月に、恵み豊かな琵琶湖を健全な姿で次世代に引き継ぐことを目指した長期間の連携協定を締結しました。この協定に基づき、守山第2なぎさ公園周辺において、琵琶湖環境の保全再生や地域の活性化を図るための活動を進めていきます。



第1回目の活動として、11月に、セブン-イレブン関係者や琵琶湖に親しむ釣り人、下流域の方々など県内外から約350人が参加し、琵琶湖岸の清掃活動を実施しました。これからも、4者は協力し、その時々課題に合わせた柔軟な活動を行っていきます。

### ○持続可能な社会の実現に向けて

滋賀県は、「環境と経済・社会活動をつなぐ健全な循環の構築」を目指し、皆さんとともに、琵琶湖を取り巻く環境の恵みと命を育む持続可能で活力あふれる循環共生型社会づくりを進めていきます。

## ■京都府■ 「鴨川探検！再発見！」

### ○「鴨川探検！再発見！」とは

歴史都市「京都」の顔として、多くの人々に親しまれている鴨川の魅力を、自然観察会や歴史文化の学習会などを通じて改めて発見し、治水や防災、川への理解を深め、河川愛護や自然環境保全への関心と主体的な取り組みの輪を広げてもらうことを目的としています。平成16年からスタートし、小学生を対象に年に4回程度開催しています。

### ○ 最近の開催状況

#### 【第53弾 秋の鴨川ウォーク 水辺の自然観察会】

(令和元年10/20(日)、鴨川左岸北山大橋から下流で開催、子ども19名・保護者15名参加)

#### ドングリ学習



ドングリの種類について学習。知らないことがたくさんありました。

#### 自然観察会



発見した虫たちをじっくり観察し、バッタとキリギリスの違いや、外来種のオンブバッタがなぜ増えたか等を学びました

#### 【第52弾 鴨川の生きもの観察&水質調査】

(令和元年7/28(日)、鴨川・北山大橋周辺で開催、子ども41名・保護者34名参加)

#### 観察会



鴨川に入って、生きものを観察。CODパックテストを使って水質も調べました。

#### 川や生き物について学習



クイズやぬりえなどをしながら、川や水辺の生き物について学習しました

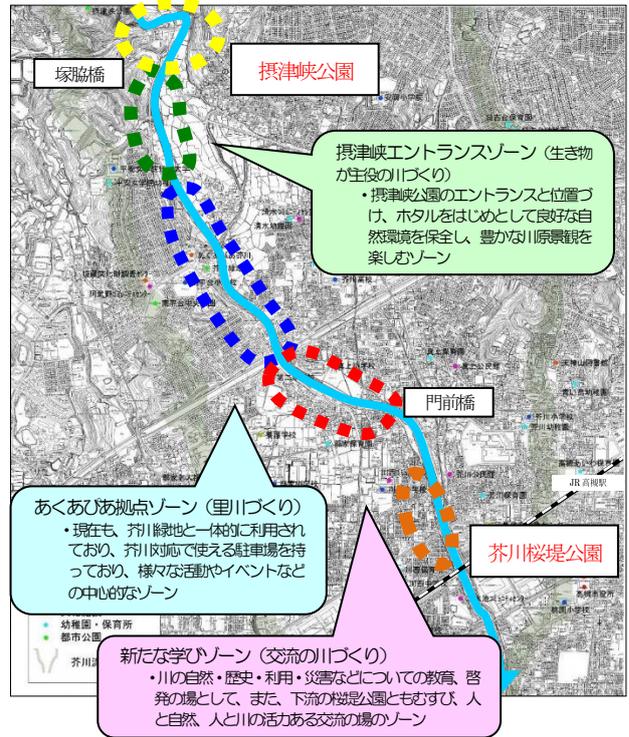
“鴨川”の魅力を再発見し、川への理解を深め、河川愛護や自然環境保全への関心を広げるため、今後も引き続き開催していきます。

※「鴨川探検！再発見！」<https://www.pref.kyoto.jp/kamogawa/1170046924991.html>

## ■大阪府■ 芥川かわまちづくり計画について

大阪府では、水辺を活かして地域の賑わい創出を目指す、高槻市の「かわまちづくり計画」(平成25年度高槻市策定)に基づき、大阪府高槻市を南北に流れる芥川において高槻駅前から摂津峡までの周辺整備と一体となった水辺空間の整備を行うこととしています。

この計画に基づき、計画区間(門前橋から塚脇橋3.0km)において河川沿いに点在する公園と融合する河川空間を創出するため、治水上の安全も確保した河川管理施設を整備しており、令和2年には魚道や遊歩道などのハード整備が完成し、河川空間と公園空間が一体となった新たな都市空間が創出されます。



計画図

また、芥川を拠点とするNPO法人や地元商工会、自治会などとの連携による「こいのぼりフェスタ」や整備された遊歩道を活用した「遊歩道イベント」など賑わいづくりを通じた地域活性化につながる様々なイベントや美化活動なども実施されています。



こいのぼりフェスタの実施状況



遊歩道イベント実施状況



ふれあいフェスタの実施状況



小学生を対象とした観察会



魚道

今後は、現在行っているイベントや美化活動だけでなく、完成した魚道、遊歩道などのハード整備を活用して、より芥川らしさを演出した風情を楽しむ工夫を凝らしたにぎわいづくりを実施していく予定です。

## ■兵庫県■ 阪神南地域における「水の日広報活動」について

みなさん8月1日は「何の日」か、知っていますか？

正解は「水の日」です。8月は、年間を通じて水の使用量が多く、水について関心が高まる時期です。水循環基本法では、「水の日」を8月1日と定め、国や地方公共団体は、「水の日」の趣旨にふさわしい事業を実施するように努めることとされています。

兵庫県でも、水循環基本法や、県の水に関する総合的な指針である「ひょうご水ビジョン」に基づき、水と共生する県民生活の実現に向け、毎年この時期に「水の日広報活動」として啓発活動を行っています。

今年度は、7月28日（日）に尼崎市にある武庫川下流浄化センターにて、兵庫県まちづくり技術センターと共同で、上水取水から下水処理までをテーマとするイベントを開催しました。大人60人、子供58人の計118名の方々が参加され、イベントでは、下水処理施設や展示の見学、水質検査の体験を通じて、水循環への関心を深めていただくことができました。



展示会場の様子



「水の日」広報ブース

展示の「水の日」広報ブースでは、「ひょうご水ビジョン」の配布や水の飲み比べを行い、水に関わる情報の発信、水道水の美味しさや安全性のPRなどを行いました。水の飲み比べは特に好評で、市販のミネラルウォーターや県・市町の水道水など数種類の水を飲み比べていただき、美味しいと感じた水に投票するアンケートを取ったところ、なんと7割以上の方が水道水を美味しいと感じる結果になりました。「水道水ってこんなに美味しいの?!」といった声もあり、淀川から取水した水の美味しさを感じてもらうことができました。

今後とも「ひょうご水ビジョン」に基づき、県民の水に関する理解を深める活動を推進してまいります。

### アンケート結果（美味しいと感じた水に投票）

アンケート項目（水の種類）	投票数（人）	得票率（％）
市販の水（硬水）	3	8%
市販の水（軟水）	5	14%
<b>県・市町の水（水道水）</b>	<b>27</b>	<b>75%</b>
選べない	1	3%
回答者数	36	—

## ■奈良県■ 水の週間 親子ダム見学会開催！ ～室生ダムと比奈知ダム～

奈良県では、毎年 8 月 1 日の「水の日」、これを初日とする 1 週間の「水の週間」のイベントとして、奈良県民の皆様を対象に、水資源機構と共催でダム見学会を開催しています。令和元年度は、8 月 6 日（火）に淀川流域にある室生ダムと比奈知ダムを 52 名の方々に見学していただきました。

奈良県営水道の水源である室生ダムは昭和 49 年竣工のダムで、奈良市、生駒市、天理市などの生活用水などに利用されています。水資源機構の方から、洪水を防ぐ、農地に水を送るといったダムの役割の説明などがあり、みな熱心に耳を傾けていました。現地では、ダム湖の上から見学し、浮かんでいる深層および浅層曝気設備についての説明を受け、洪水吐きゲートを見学し、堤体の高さを実感しました。

続いて見学に行った比奈知ダムは平成 11 年竣工のダムで、名張市、京都府、奈良市の生活用水などに利用されています。水資源機構の方から説明の後、堤体の下側に降り、巨大な堤体を下から眺めました。続いて堤体内部に入ると、どんどん涼しくなっていく様子に子どもたちは歓声を上げていました。また、全国に 4 例しかない「天端側水路」も見学し、子どもたちはその大きさに圧倒されていました。最後は「水質実験」を行い、パックテスト（簡易分析）により、pH や BOD を色の変化で計測し、水質を確認しました。

参加者からは様々な質問が飛び出し、ダムについて高い関心を持って見学会に参加して頂いたことがうかがえました。質問に対して、所長を始め管理所の方から参加者に丁寧に説明いただいたことで、ダムや水についての理解をより深めて頂いたことと思います。

### 【ダム見学会の写真】



室生ダム



比奈知ダム



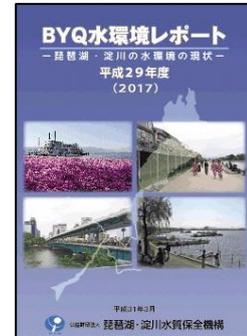
パックテスト

## ■ 公益財団法人 琵琶湖・淀川水質保全機構 ■

公益財団法人 琵琶湖・淀川水質保全機構（以下、BYQ）では、「飲める水 遊べる水 辺 次世代に」をテーマに、自主研究や研究助成、こども水質保全活動助成、広報啓発事業などを通して、琵琶湖・淀川流域の水質保全活動の推進を図り、水環境課題の解決に向けた取り組みをしています。

### ● BYQ水環境レポート

琵琶湖・淀川流域における水利用や水質の状況、変遷等の情報を一元的に取りまとめた年次報告書「BYQ水環境レポート」を継続して発行・公表しています。WEBページでもすべて閲覧可能です。



### ● 琵琶湖・淀川流域の河川を辿り、専門家が詳しく解説した『琵琶湖・淀川流域散策ブック』



「琵琶湖・淀川 里の川をめぐる～ちょっと大人の散策ブック～」と銘打ち、名水、滝といった流域ごとの見どころ、川にまつわる興味深い話を写真や地図を用いて解説しています。身近にある川を散策、観光などで訪れる際に気軽に携帯して川への親しみを深めていただければと思います。

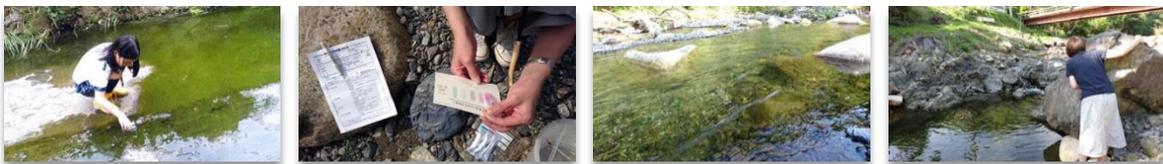
### ● BYスタンプラリー

スタンプラリー形式で、琵琶湖・淀川流域で水環境改善活動を行っているNPO法人、水関連施設の見学や参加などを通して、流域住民の皆さんが水環境への関心を高めていただくことを目的としています。



### ● WAQU2 (わくわく) 調査隊

身近にある湖沼や河川を、流域の住民の皆さんが簡単な方法で水質検査をすることで、水に親しみ、水環境を考える機会としていただくことを目的に実施しています。



### ● 助成事業

大学や研究機関向けの「水質保全研究助成」や、子ども達の活動を支援する「子ども水質保全活動助成」をおこなっています。

